



上田千曲高等学校俯瞰（1989年撮影）



発行者
上田千曲高等学校
同窓会
長野県上田市中之条
626番地
責任者
同窓会事務局
印刷所
(株) サラト



創立八十周年を 迎えるにあたり

同窓会長 成澤 秀敏
(昭和24機卒)

同窓生の皆さん、全国各地において、お元気にて活躍のことと拝察申し上げます。

日頃より母校発展のため、お心をおよせいただき感謝にたえません。

おかげ様で、来る平成九年を以て創立八十周年を迎え、卒業生も二万二千余名を数えるに至り、各界において華々しく活躍されておりますことは、ご同慶にたえません。

今年は、年明けとともに「阪神淡路大震災」「いじめ問題」「サリン事件」「円高」と相次ぎ、日本の未来への展望に大きな影を落しつつあります。こうしたなかで、いま問われておりますのが、日本人の「心」や「精神」「文化」の在り方ではないでしょうか。一人一人が地域社会への貢献や、モラルの確立、ボラ

ンティア活動などについて、なにをなすべきかを真剣に考えることが必要でしょう。
上田市では、いまマルチメディア情報センターの設置により「インターネット」への情報基盤構築に向け、急速な展開をみせつつあります。これからの情

報社会では、パソコンを使いこなすことが当然となる時代を迎え、読み・書き・ソロバンから読み・書き・パソコンの時代が目前にせまりつつあります。情報化時代に取り残されることのないよう、常に学ばせ姿勢を堅持し、柔軟な頭脳と、生涯学習への取り組みが配慮されなければならぬ大切な時期でしょう。
母校においても授業のなかで情報技術を組織的に根付かせるため、教育・研修のほか、積極的に情報機器を活用して、継続的な積み重ねが行なわれていると聞き及んでいます。時代に遅れぬ人材育成こそ重要な課題です。

二十一世紀も間近くせまり、国際化時代にふさわしい人間性の向上と、能力の開発が叫ばれていることは、今更言うまでも

ありません。豊かな個性を伸ばし、望ましい目標に向かって、個人の可能性を最大限に引き出すための教育に、期待すること極めて大なるものがあります。
創立八十周年を記念する諸行事の計画達成のためにつきましまして、PTA並びに全国の同窓生各位におかれまして、趣旨を十二分にご理解のうえ、格段のご支援とご協力を賜り、母校のますます隆盛なる前途を開拓できますよう念願してやまない次第であります。
終りに、皆様方のご繁栄とご健勝を心よりお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

平成7年度 同窓会総会のお知らせ

日時：平成7年10月1日（日）

午後3時～（終了後懇親会）

場所：上田温泉

上田市大手1-2-2（上田駅より徒歩3分）

出席される方は、9月18日までに官製はがき又はFAXにて同窓会事務局へご連絡ください。

連絡先：〒386 上田市中之条626

上田千曲高校同窓会事務局(FAX:0268-26-2898)



新任のごあいさつ

学校長 杉崎 斌
(昭31機卒)

今年も残暑の候となりましたが、同窓の皆様には如何お過ごしでしょうか、ご健勝で益々ご清栄のことと拝察し、お喜びを申し上げます。私こと、この四月箕輪工業高校長から本校十四代目校長に就任しました杉崎です。昭和三十一年本校の機械科の卒業生でもありますので宜しくお願いいたします。

今をさかのぼること、およそ四十年、記憶を辿れば広大な敷地に旧熊谷飛行学校上田分校あとの兵舎や、練習機の格納庫を改造した教室など多々ある戦時中の痕跡のなかで多感な高校時代を送りました。その当時を思い起こすと、桜の花が満開の頃の学園風情に富んだ情景や、晩秋の頃には北を望むと烏帽子岳の紅葉、また如何にして応援練習をさばるかを実践し、先輩に見つかりこっぴどく説教されたことなど思い出はさまざまあります。この頃の産業界のトップはバイクの研究開発と製造でした。次いで造船・鉄鋼・自動車・情報機器へと変化のなかで、県内をとび回り、七校目にしようやく終着点の母校にたどり着きました、あと少々で定年を迎えます。

過日、今年企業を定年退職された家本先輩にお会いすることができました。「先輩からのメッセージ」をねだったところ、貴重な新入社員に送る言葉の「五つの心」を頂戴いたしました。その追伸文として、「四十年前入社してからのお出来ごとや、人々との付き合いでは、思い出せない事が多々あるのに、なぜか在校中の印象は強烈に残るものだ、楽しいことばかりでなく、苦しいことも一生忘れることができない。今になれば、宝の三年間です。」と結んでおられました。在校生には、宝の三年間を有意義に過ごさせ、よき思い出を精一杯つくらせるよう努力しますので、生徒へのアドバイス・教訓等を是非お寄せいただきたく存じます。

を逐次実施してきました。各校特色を如何に出し生徒減に対処したらよいのか必至であり、高校改革の真っ只中であり、本校もその余波を受け、特色魅力を発揮するため、長年続いた家政科・二級を廃止し、生活福祉科と食物栄養科(既に二階建の家庭科実習棟を三億円で建設中)への転換をはかりますが、それでも追いつけないのが現状であります。将来的には学級を減じ少数精鋭をはかることとなります。

さて、年月の経つのは早いもので本校も八十周年を迎えようとしています。十八年前には滝崎会長を実行委員長として、昭和五十四年十一月創立六十周年と新校舎落成とを合わせた記念事業を行いました。お陰様で千曲高校の大きな節目として生徒の資質向上や施設なども充実し、ロータリー側面にある関東支部から寄贈された大時計も風雨に耐え故障もなく時を刻み続けております。それを見る度に盛大且つ厳粛のうちに成功裡に終了を告げました大事業の意義を思い出しております。それから十八年が過ぎ、成澤会長を実行委員長とした八十周年記念事業を九年の秋に挙行の運びとなりました。その詳細を紙上に載せてあります。つきましては母校発展のため、前回にまさるご支援とご協力をお願い申し上げます。

おわりに、皆さんのご健勝を心からお祈りいたしております。

同窓、杉崎校長を

母校にお迎えして



PTA会長 宮下 幸良
(昭42建卒)

同窓会会員の皆様には、各地におかれまして、益々ご健勝にご活躍のことと御拝察申し上げます。

り各種記念事業が計画されております。

大正六年創立以来、多くの人材を輩出し、上田市内はもとより長野県内外において卒業生の活躍には、目を見張るものがあり、在校生の良き指針となっております。いただいたいております。

過日、上田千曲高校六十周年史をひもといております。口絵編集の係をされていたのが現千曲高校の杉崎校長先生でした。

八十周年を迎えるこの年に、当校の卒業生でもあり、又、六十周年の節目の折りにご在職頂いておりました杉崎先生が、校長先生としてご赴任いただいたのも何かのご縁かと喜ぶべきことと思います。私も又、皆様と同じ当校の卒業生でもありますので同窓会員であります。

私もが在学しておりましたころは、広い敷地に古い校舎が点在しており、渡り廊下も無く雨の日には生徒はもろろのことも、先生方も教科書を片手にこうもりをさしながら、教室に向かったものです。先生方のいらっしゃる教科研究室もあちこちに散らばっており、今の様に通信設備があるわけではなく、連絡事項があると飛び回っていた、事務職員の方の姿が目につきます。

そのような施設が、前回六十周年を前に、校舎新築及び施設整備が行われ現在のようないまの施設と生まれ変わりました。しかし、御衆知のごとく、この二十年間の時代の変貌もさまざま、施設改善が追いつかない状態です。

特に職業高校として、地域のなかに根づいた専門教育を特色



同窓会副会長 金 沢 秀 世
(昭25機卒)

関東支部長・副会長 就任のご挨拶

本年四月、関東支部長に就任致しました。微力ではございますが、精一杯努力致す所存でございますので宜しく御願い申し上げます。新支部長就任の御挨拶をとお話しがあり、月並みなものではないのですが、在校時の事を振り返りつつ文を認めさせて頂きます。私は昭和二十五年の卒業です。この間上田市立商工学校・上田工業高校(市立)・上田商工学校(市立)・上田市立高等学校となりました。二十三年この最後の学校と上田市立高

等女学校が合併昇格し、長野県上田市立高等学校として新学制のもと新発足しました。更に二十四年、長野県立上田千曲高等学校となりました。二十年入学以来戦時教育から、戦後の民主主義教育となり激動の時代でした。二十三年十月に元飛行場跡に移転、先に移転していた女子生徒側と合流し今日の体制と同じになりました。当時は元の兵舎や、格納庫を改造した講堂、教室で授業が始まりました。冬は配給のバケツ一杯の石炭ストーブで二時間もたつと消え、

とした当校です。特殊な施設も多く必要としております。そんな中、歴代PTA会長のご尽力により、毎年PTA会員の署名を集め、各方面へ施設整備のお願いの陳情もして参りました。しかし、県下高等学校も数多く、なかなか当校のみ改善して頂く訳にも参りません。そこで、今回八十周年を期に、施設充実のため皆様にご尽力いただけることとなりました。青春時代の数ページを過ごし

た母校のため、愛校心にもえる皆様のご好意に感謝しております。同窓会会員の皆様の待つ社会へ、千曲高校の卒業生であるというプライドを持ち巣立っていく在校生を、これからも暖かく見守りご指導いただけます様、諸先輩方をお願いして参りたいと思います。同窓会の益々の活性化と皆様のご健勝、ご発展を祈念しご挨拶とさせて頂きます。

窓の隙間からは寒風が入り込むので、寒さで震えながら授業を受けました。然しながら戦後の乏しい物資の時代でしたが、それこそ先生と生徒が真実の人間教育と師弟の絆をもって、明かしく楽しい思い出を作ることが出来ました。この厳しい環境と熱い学校への想い出が、関東同窓会で活躍される役員の方々の原点になっているかと思えます。又本校は男女共学を戦後いち早くスタートさせた良風が同窓会も仲良く和気藹々と活発にさせたかと思えます。毎年総会に交流する上田高校や上田染谷丘高校の皆さんから羨ましがられておりました。

さて私は御挨拶に在校時代のことを話させて頂きましたが、之は単に懐旧談というより、当時の学校の状況を通して、最も尊い師と生徒との交わり、又同窓生との青春の友情のつながりが、本当に素晴らしいことであるという話を話したかったというのであります。高校時代は人間の人格形成期にあつて最も大切な時期であります。私もいつも母校への感謝と誇りで一杯です。二年後には八十周年記念事業があります。関東同窓会も毎年度校長先生、教職員、恩師始め母校成澤会長他役員の方々を迎えて盛大に開催されております。然しながらこの楽しみと喜びの集いの中に、この記

念事業への参加を通して報恩の道を盡くしていきたいと願っております。尚本年は十一月十二日に例の健保会館で定例総会がありますことをお伝えさせて頂きまして、御挨拶とさせて頂きます。

本校の近況報告

全日制教頭

河西 靖 男

同窓会会員の皆様方には、日頃より本校教育の活性化のためにご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。役員や代議員の皆様方に敬意を表したいと思います。

さて、本年度も三五八名の新生を迎え、総勢一〇六五名でのスタートとなりました。この四月より生徒の服装の自由化が実施され、加えて学校五日制、家庭二日制が月二回に増えております。

卒業生のここ数年の進路状況は、平成四年度より進学率が就職率を上回り五二%となりました。そして、この傾向は長期不況とともに増加を続け、本年度は六五%に達しようとしております。そこで、学校でもこの進学志向への対応に鋭意努力しているところであります。

次にクラブ活動面について報告します。まず、野球部が春季

東信大会でいずれもコールド勝ちでベスト八まで駒を進めたのは、近年にない快挙でした。今後は大いに期待したいと思えます。五月中旬に東信地区体育大会が開かれ、弓道部の個人戦優勝も含め八班が県大会へ出場しました。中でも水泳部が女子50m自由形で北信越大会への出場権を獲得したことは、日頃からの倦まず弛まぬ努力の成果であります。また、六月に開催された文化系の大会で、ワープロ班が団体戦で北信越大会へ、簿記班が個人戦で二名全国大会出場を獲得したことは、高く評価したいと思います。なお、これらの活動に際し同窓会より物心両面でのご支援を戴き、厚くお礼申し上げます。

施設・設備面では六月二十九日にプールの塗装工事が完了し、プールの塗装工事が完了し、プール開きの安全祈願が行われました。また、来年三月完成予定の家庭科棟の地鎮祭が六月三十日に行われました。さらに、建築科にCADシステムが、電気科にミニコンシステムが更新される等、関係者のご理解とご協力を得て、当地の専門教育の殿堂として着々と充実発展しているところであります。

生徒達も質実剛健な気風と、純真・素朴な生活態度は、地元からも総じて高い評価を得ています。しかし、当地区もマルチメディア支援センターやマルチ

メディア情報センターに加え、県立工科短大の開設等により、全国に先駆けての情報化や技術革新が進展しつつあります。これら社会の急激な変化に対応するためには、これまで以上に知識・技術の高度化や多様化に相応したスペシャリストの育成が必要になってきています。

つきましては、母校の永遠なる発展を願う同窓会諸氏の、啐啄の機という観点からなご一層のご理解とご支援を戴きたくお願い申し上げます。

定時制の近況

定時制教頭

浅井 英 登

地元、上小地方に根をおろしご活躍の同窓生の皆様にはもとより、全国でご活躍の同窓生の皆様に、心からご挨拶申し上げますと共、千曲高校創立八十周年の記念事業成功に向けて、昨年に引き続き、会報発刊のはこびとなりました事、ご同慶にたえません。

会員の皆様には、日頃より母校教育発展の為に何かとご配慮と、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

本校定時制も、昭和三十六年に勤労青少年の為の教育機関として募集が開始されて以来、生

徒達は日々勤労に、学習に、クラブ活動にと励んでおります。

時代の変遷と共に入学生は、年々減少傾向にあります。本年は総勢二十六名で新学期のスタートをいたしました。

四月の新生歓迎会は、生徒会が中心となり、楽しく、リラックスした雰囲気で行われました。真面目そうな、又まだ童顔が残る新入生に接し、これからの四年間を、勤労と勉学の両立を目指し頑張ってくれる事を期待しました。

五月には、家庭訪問、東信定時制体育大会と、生徒も先生も多忙な日々を送りました。

東信体育大会は、バドミントン・バレーボール・卓球・バスケットボールの四種目が行われました。本校は少人数ながら全員がクラブ加入し、放課後一生懸命練習を積み重ね、東信地区五校のうち、唯一全種目出場を果たしました。

結果は、卓球が団体優勝し、個人と併せて、見事県大会出場を果たしました。他の三種目も二位、三位と入賞し、大いに健闘しました。

六月には、生徒達が勤務する職場を、学校側から訪問する企業訪問が実施されました。日頃の学校生活では見られない生徒の一面を随所に見聞出来、生徒理解の面でも役立ちました。七月に入りまして、生徒の勤

務する職場の代表、保護者、学校の三者による、三者懇談会が開かれました。お互いが本音で話し合う中で、三者一体となつて生徒を育てていく環境づくりが出来、有意義な会となりました。

二期は、文化祭、定時制生

進路指導室より

進路指導係

池田 潤 一

同窓会会員の皆様方には、各地で日々ご活躍されている事とお喜び申し上げます。

また、企業、事業に関係している方々には日頃、生徒の就職に際しましては大変にお世話になっております。

さて、ひと頃の若年労働者のもてはやされた時代が終焉となつて、昨年より本年はまた一段と雇用状況が悪化し、大変な就職難の時代に入りました。

本校は旧来より地元では職業教育の殿堂として多くの有能な資質の高い職業人を育成し輩出して来まして、例年ですと今頃は求人側の殺到で、生徒を送れない事業所が多数ありました。

本年は七月三日から求人側活動が始まり七月二十日までの間に二二二社（県内）の求人、昨年比五十社減、例年の半数以下という状況で、現在の三年の

活体験発表会の校内大会、東信大会、県大会と、大きな行事が待っています。少人数の利点を生かし、先生と生徒が一体となつて日常の学習活動を進めてまいりたいと思っています。

一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

生徒達にとっては、この長い梅雨期と同じような思いで限られた求人票をみて、就職活動をしている状況です。

企業側にとっても景気の見通し不透明や円高もあって、新聞報道などによると、この雇用状況の悪化はまだ当分続き、来年はもっと悪いとの見方もされています。こういう状況下です。企業側の求める要求も一段と厳しくなっています。事実、人手は足りない、よい人材が欲しいと言われるのは当然なことなのです。これからは厳しい状況下でも資質をもった耐えられる人材育成をしていくことが急務かと思っています。

次に進学に関してであります。平成四年より進学率が就職率を上回りました。年々徐々に比率をあげ、この不況下であっても、この傾向は強く、現三年生は七月四日現在では進学希望者は六十%を有に越えています。昨年度三月は四年制大学に十七名のものが進み、過去数年間では最高の人数です。

上田千曲高等学校 創立80周年記念事業

同窓会事務局専任職員紹介

同窓会では、下記2名の専任職員を配置し記念事業推進の為に協力頂いております。

月・水・金 (AM10:00~PM3:00)

清水 皋一 (旧 職員)

北村(旧姓:青柳)孝子 (昭35商卒)

事務局専用電話 0268-26-2898 (FAX 兼用)

でも本校は本校の職業教育のカリキュラムを実施しており進学向け教科内容ではないため生徒の進路指向と学校での学習内容が異なるので進学指導となる、担任の先生を含め大変に苦勞をしています。

高校での進路指導は生徒にとっては一生の一番大事な時期でもあり、適切に係としても当たらなければならぬと、また、いづれ生徒達は卒業したら、会員の皆様方の中に仲間入りします。会員にふさわしい生徒達であるよう願っています。今、三年生の生徒達にとっては厳しい進路状況ですが、職員一丸となつて指導にあたりますのでよろしくお願いいたします。

平成6年度 決算報告書

上田千曲高等学校同窓会長 成澤 秀敏

1、総括

歳入総額 2,672,261円
 歳出総額 1,395,680円
 差引残額(繰越金) 1,276,581円

2、歳入

(単位:円)

項目	予算額	決算額	摘要
入会金	1,750,000	1,780,000	356名×@5,000
利息	554	3,035	
雑収入		46,780	同窓会名簿売上代
前年度繰越金	842,446	842,446	
合計	2,593,000	2,672,261	

3、歳出

項目	予算額	決算額	摘要
総会費	400,000	248,094	
同窓会連合会費	10,000	0	
会議費	200,000	64,890	役員会
報償費	100,000	0	
旅費・日当	200,000	56,000	役員会他
事務費	50,000	62,164	郵便料、封筒印刷、ゴム印他
支部関係費	300,000	18,958	同窓会名簿索引他
慶弔費	300,000	248,500	全国大会出場祝金(4件)、支部総会祝儀、転退職員記念品代他
備品購入費	20,000	0	
基本積立金	300,000	300,000	残高11,645,021円
生徒指導費	100,000	100,000	
同窓80周年活動費	100,000	24,449	委員会
補助費	100,000	100,000	全国大会出場補助(相撲)
同窓会新聞発行費	200,000	172,625	
予備費	213,000	0	
合計	2,593,000	1,395,680	

平成6年度同窓会会計について監査の結果相違ありません。

平成7年6月29日 監事 荒井久子 印

平成7年度 予算書(案)

上田千曲高等学校同窓会長 成澤 秀敏

1、総括

歳入総額 5,228,000円
 歳出総額 5,228,000円
 差引残額 0円

2、歳入

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	摘要
入会金	1,790,000	1,750,000	358名×@5,000
基金繰入金	2,150,000		基本積立金から繰入
利息	1,419	554	
雑収入	10,000		
前年度繰越金	1,276,581	842,446	
合計	5,228,000	2,593,000	

3、歳出

項目	本年度予算額	前年度予算額	摘要
総会費	400,000	400,000	
同窓会連合会費	10,000	10,000	
会議費	200,000	200,000	役員会
報償費	100,000	100,000	
旅費・日当	160,000	200,000	役員会他
事務費	150,000	50,000	郵送料、消耗品費
支部関係費	300,000	300,000	
慶弔費	300,000	300,000	
備品購入費	20,000	20,000	
基本積立金	0	300,000	
生徒指導費	100,000	100,000	
同窓80周年活動費	3,000,000	100,000	記念事業事務局設置運営費及び準備費
補助費	100,000	100,000	
同窓会新聞発行費	200,000	200,000	
予備費	188,000	213,000	
合計	5,228,000	2,593,000	

《同窓生紹介シリーズ》

上田千曲高校OB4 画家による美術展「4つのへそ展」開催

平成7年8月4日～6日、丸子町文化会館にて上田千曲高校OB4人の画家による上記美術展が開催されました。「4つのへそ展」代表の笹井 弘画伯の絵は、母校上田千曲高等学校にも3点が飾られており、日々生徒が廊下を行き来する際、その優れた先輩の作品に接しています。また、丸子町文化会館大ホール緞帳「清流潤潤」の原画作者でもあります。

これまでに全国各地で数々の立派な業績を積んでこられた画家と新進の画家とが、同窓一堂に集い美術展を開かれましたこと、千曲高校同窓にとっても大変名誉なことであり、同窓会としてもお祝い申し上げ、今後益々のご発展をお祈り致します。

〈4人の画家の略歴〉

- 笹井 弘 1971年機械科卒業、1977年東京芸術大学油絵科卒業 安宅賞
 (現住所 横浜市) 1979年 〃 大学院修了
 ・出品歴 一陽展、日本オブジェ展、現代日本美術展、第10回こうふ展(招待)
 他多数
 ・その他 全国各地にて個展開催
- 柳 沢 卓 夫 1974年機械科卒業、1980年渡西。マドリッド
 ESTUDIO Soto、Mesa、他に学ぶ
 (現住所 佐久市) 1990年田崎美術館賞
 1994年～田崎美術館信州展審査員
- 池 田 敏 郎 1977年機械科卒業、1981年日本美術学校卒業
 (現住所 上田市) 1991年～春陽会出品(2回入選)
 東京セントラル美術館 等にてグループ展
- 由 井 克 哉 1977年電気科卒業、1982年日本美術学校油絵科卒業
 (現住所 上田市) 1984年新制作展出品 その他 銀座ヤマト画廊
 東京セントラル美術館 等にてグループ展

長野県上田千曲高等学校 創立八十周年記念事業募金趣意書

時下、同窓会会員各位には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、母校上田千曲高等学校は、来る平成九年（一九九七年）を以て上田町立女子実業補習学校として発足した上田実科高等女学校より数えて八十周年を迎えることとなります。創立以来、卒業生は二万二千余名の多きに至り、我が国の各界において華々しく活躍されていることは、まことにご同慶にたえないところであります。

これにともない、母校上田千曲高等学校の教育環境も、専門高校としての理想的な姿に年々整備されており、後輩たちも勉学に、部活動に励んでいることをうれしく思います。これも偏に、同窓の皆様が母校愛の発露の賜物と母校関係者共々衷心より感謝いたしております。

さて、同窓会として母校創立八十周年の、記念事業について検討してまいりましたが、学校当局と協議しました結果、今日の時代に即応した体育施設のいっそうの充実が求められている事情を勘案して、トレーニングルーム（雨天屋内練習場）の新設と現在の「桐葉館」を多目的施設として改修し、同時に周囲の環境整備並びに吹奏楽器の整備計画を併せて立案、平成六年十一月十九日、同窓会総会に提案いたしましたところ満場一致で可決されました。

つきましては、同窓会会員各位には、この大事業完遂のため、積極的にご賛同いただき、格段のご支援ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

平成 七年九月

長野県上田千曲高等学校創立八十周年記念事業実行委員会

顧問（上田市） 竹下悦男

参与（県会議員） 平野成基

（東部町長） 保科俣教

（同） 佐藤良男

会長（同窓会長） 田中重信

（真田町長） 若林康朗

（同） 金井浩正

副会長（PTA会長） 宮下幸良

（丸子町長） 堀内憲明

（市会議員） 手塚克己

同（学） 校長 杉崎 斌

（長門町長） 北沢貞利

（同） 丸山正明

同（同窓会副会長） 井出富江

（坂城町長） 柳沢賢二

（町会議員） 矢沢一豊

同（同） 宮澤令行

（和田町長） 城下昭一

（同） 合葉 啓

同（同） 若林邦彦

（武石村長） 永井泰美

（同） 伊藤良夫

同（同） 金沢秀世

（青木村長） 宮原 毅

（同窓顧問） 窪田昭三

参与（県会議員） 島田基正

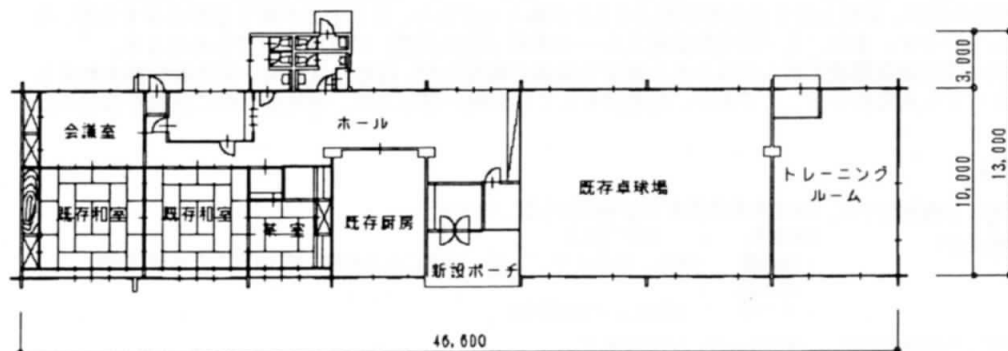
（同） 佐藤次雄

（同） 母袋創一

（同） 滝崎 隆

同窓会会員各位

創立 80 周年記念事業 桐葉館改修工事後完成図



平面図 S=1:400



南立面図 S=1:400



東立面図 S=1:400

上田千曲高等学校創立 80 周年記念事業実行委員会役員組織(案)

顧問	上田市長 東部町長 真田町長 丸子町長 長門町長 坂城町長	竹下悦男 保科俊教 若林康朗 堀内憲明 北沢貞利 柳沢賢二	和田村長 武石村長 青木村長	城下昭一 永井泰美 宮原 毅
参 与	県会議員 同窓上田市議 同窓町会議員 同窓会顧問	島田基正、母袋創一、平野成基、佐藤良男、金井浩正 手塚克巳、丸山正明 合業 啓(真田)、矢沢一豊、伊藤良夫(丸子) 窪田昭三、佐藤次雄、滝崎 隆、田中重信		
会 長 副会長	同窓会長 PTA 会長 学校長 同窓副会長 〃 関東支部長	成澤秀敏 宮下幸良 杉崎 斌 井出富佐江、宮澤令行、若林邦彦 金沢秀世		
事務局長 事務局	全日制教頭 定時制教頭 学校事務長 学校職員 同窓会事務局	河西靖男 浅井英登 小林真一 岩崎喜一郎、上原民恵、大川秀一、尾沢柳子、佐藤与四郎 清水舉一、北村孝子		
常任委員長 常任委員	会 長 副会長 理 事	成澤秀敏 金沢秀世、井出富佐江、宮澤令行、若林邦彦 一之瀬鉄男、六川幸昌、石原張男、丸山一郎、丸山正明 白石洋一、手塚克巳、林 明男、渡辺洋美、田中 剛 荒井久子、小林かね子、松井けさ枝、飯島郁子、宮沢幸子 山浦幸知子、窪田 栄、村山ひとみ		
総務委員長 副委員長	副会長 理 事 PTA 会長 PTA 副会長 全日制教頭 理 事 学校職員	宮澤令行 荒井久子 宮下幸良 殿川啓子 河西靖男 小林かね子、松井けさ枝、飯島郁子		
事業委員長 副委員長	理 事 理 事 PTA 副会長 PTA 定時制会長 定時制教頭 理 事 代議員 学校職員	白石洋一 山浦幸知子 竹内 強 吉池 強 浅井英登 丸山一郎、渡辺洋美、宮沢幸子、村山ひとみ 内海喜内、坂尻龍男、堀場勝哉、飯島祐二		
会計委員長 副委員長 委 員	副会長 学校事務長 理 事 PTA 部長 代議員 学校職員	井出富佐江 小林真一 林 明男 村上 寛 島形建夫		
会計監査委員	参 与 代議員 学校職員	手塚克巳、丸山正明 内藤 規		
募金委員長 副委員長	副会長 関東支部長・理事 PTA 副会長 PTA 各部長 理 事 代議員	若林邦彦 金沢秀世、一之瀬鉄男、窪田 栄 清水 要 高塚源一郎、柳沢義人、殿川安秀、坂下 實 石原張男、六川幸昌、合業 啓、田中 剛 土屋康雄、中川 清、中島理公、一之瀬 勤、横尾智靖 山部一巳、高山猛雄、中沢 進、金井英一、根津正吾 堀内尊善、宮沢文男、荻原昇一、竹下秀幸、春原宗明 地区別・学年別 久保田高冬 小林義輝		
委 員	同窓会支部長 建桐会会長 桐花会会長 柔道他OB会会長 PTA 支部長 学校職員	村沢忠男、宮下正利、中村秀夫、小澤芳徳、高柳健二 藤極正幸、若林茂幸、渡辺重一、清水三喜夫、池田和弘 翠川 豊、柳沢義人、依田幸有		

募 金 要 綱

記念事業計画

一、記念事業及び募金使途計画

総額 八、〇〇〇万円

1、「桐葉館」(多目的施設) 改修工事及び環境整備

2、トレーニングルーム(雨天屋内練習場)の建設

3、吹奏楽器新規購入

4、記念式典・音楽会・講演会の開催・その他事業関連経費

二、募金計画

募金目標額 八、〇〇〇万円

1、同窓会提出

2、篤志寄付金

三、記念式典は平成九年十月の予定

四、寄付金の締切りは平成八年十二月の予定

一口 五、〇〇〇円(一口以上)

五、二〇〇万円
二、八〇〇万円四、五〇〇万円
一、三〇〇万円
六〇〇万円
一、六〇〇万円

送金方法についてお願い

送金については、左記の金融機関へご入金をお願いします。

◎県内の方：郵便局用又は八十二銀行用の振込み用紙を使用

◎県外の方：郵便局用の振込み用紙を使用

郵便振替口座 上田千曲高校八十周年記念事業実行委員会

〇〇五九〇一二一五八四一

八十二銀行 上田千曲高校八十周年記念事業実行委員会

三好町支店口座 普通 三五七〇六六

※ 同封の振込み用紙を使用して、郵便局又は八十二銀行本支店

から振込まれる場合は、手数料はかかりません。

生徒会だより

運動部

野球部代表決定戦にて惜敗

◎春季北信越地区高等学校野球

長野県大会東信地区予選

一回戦 千曲19-9北佐久農

(7回コールド)

二回戦 千曲15-7野沢南

(7回コールド)

三回戦 千曲2-9岩村田

水泳班北信越出場・今後の取

組に期待

◎県総合体育大会

ソフトテニス

学校対抗 男子一回戦負

女子一回戦負

女子個人

一回戦千曲2-1木曾

二回戦千曲1-2赤穂

(ベスト16)

◎柔道

女子学校対抗

初戦負(対松商)

女子個人

軽量級 松沢 初戦負

中量級 中村 初戦負

無差別 菅原 初戦負

◎剣道

女子学校対抗

(秋山、大森、宮下、

荒井、山田)

予選リーグ 3敗

(対屋代、松南、岡谷南)

◎ハンドボール

一回戦負 千曲13-34屋代

◎陸上競技

男子 幅跳 殿川 予選落ち

砲丸 戸島 予選落ち

女子やり投げ

大久保 予選落ち

◎弓道

学校対抗

男子 11位 40射中19中

(大沢、田中、滝沢、

宮崎、甲田)

女子 19位 40射中14中

(真保、岡田、清水、

松尾、関)

個人 決勝進出ならず

男子 菅原 4射中2中

女子 岡田 4射中2中

◎卓球

学校対抗

(宮下、池田、塚田、上平)

一回戦 千曲0-3須坂商

◎水泳

女子50M自由形

山崎夏枝 6位

四百Mメドレーリレー

北信越出場

予選落ち

予選落ち

予選落ち

予選落ち

予選落ち

予選落ち

予選落ち

予選落ち

予選落ち

予選落ち

文化部

今年度五月現在、文化班の数

一八(班員二九四名)・同好会九

(三一人)、所属者総数三二六

名。書道、吹奏楽、ワープロ、

軽音、電気班は班員数が二〇名

を越える。また、前年に引き続

き書道、吹奏楽、演劇が県高校

文化連盟に加盟している。

文化班の活動が本格化するの

はこれからである。九月の文化

祭をはじめとして、秋から各種

の大会やコンクールが行われる

が、昨年の実績を上まわる成果

を期待したいところである。

簿記班 三井智絵

「全国大会」で入賞(本校初)

小池さよ子も健闘

去る六月二十五日に行われた

県大会で本校簿記班は、須商・

長商に次いで団体第三位に入

賞。個人戦で、三井智絵(商3

の1)と小池さよ子(商2の1)

は長野県代表選手となり七月二

十三日明治大学を会場とする、

「全国高校簿記コンクール全国

大会」に出場した。

本校からの二名の選手はよく

健闘し、特に三井は入賞(佳良

賞)、表彰状と楯を獲得した。

二名の全国大会出場はもとよ

り全国大会入賞は、本校では初

めてであり、県内でも須商に次

ぐ快挙である。

右の大会とは別に簿記選手権

大会に向け三年生は全国大会、

二年生は団体優勝を目指して練

習に励んでいる。

定時制

卓球 学校対抗戦 一位

個人戦 二位、三位

県大会出場

五月二十一日(日)野沢南校

で開催された東信大会には本校

生徒全員参加を旨とし全種目に

エントリーして、四月からの練

習成果を試し、県大会出場を目

指し大いに頑張り善戦した。

大会結果

卓球 学校対抗 一位

個人 関 二位

細川 三位

辻谷 三位

バドミントン 学校対抗 二位

バスケットボール 三位

バレーボール 二位

東信野球春季大会

六月十日(土)本校で東信野

球春季大会開催、今年は野沢南

高校がチーム編成でき、三チー

ムでの対戦となった。

大会結果

一回戦 上田千曲

15-5野沢南

二回戦 上田千曲

6-18上田

投手の吉池は二回戦でも四回

までリードするピッチングをし

たが連投の疲れでこのような結

果となり本当に残念でした。

六月十一日(日)岡谷工業高

校で県大会が開催され本校から

は卓球の学校対抗、個人戦に出

場し全国大会を目指し健闘した

が県大会の壁は厚かった。学校

対抗戦、個人戦、関、細川、辻

谷は一生懸命頑張ったが残念な

がら一回戦で惜敗した。



編集後記

それぞれのお立場で、ご活躍の皆様に、ご健勝を祈念致しております。

本年は戦後五十年、平和の為にそして人々の幸福の為に、あらゆる場所で開催しておられる上田千曲高校同窓の皆様に心より敬意を表し、合わせて同窓会へのご協力をお願い申し上げます。編集後記とさせていただきます。